

HiKOKI

取扱説明書

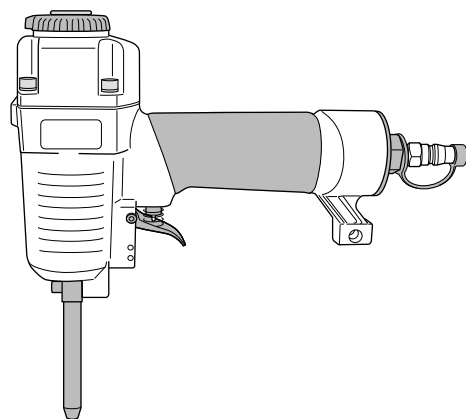
用途

●型枠パネルの釘抜き作業

釘抜機

NU 75A

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に
保管してご利用ください。



釘抜機の安全上のご注意	1
各部の名称	7
仕様	7
標準付属品	8

はじめに

ご使用前の点検・準備	8
釘を打ち抜く	11

使い方

保守・点検	13
使用潤滑油	14
ご修理のときは	裏表紙

その他

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」、「⚠注意」、「注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

釘抜機の安全上のご注意

- けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

作業前

① 保護メガネを使用してください。

- 作業中は、保護メガネを使用してください。
- まわりの人にも保護メガネをかけさせてください。
木材・釘の破片、打ち抜いた釘が目にあたると、けがの原因になります。

①



② エアコンプレッサ以外の動力源は使用しないでください。

本機は、エアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（酸素、アセチレン、プロパンなど）を使用すると、爆発の恐れがあり、事故の原因になります。

②



③ 機体の排気音や排気空気から耳を保護するため、防音保護具を着用してください。

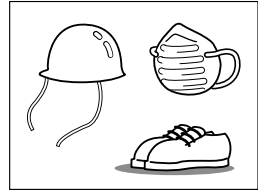
④ 作業環境に応じてヘルメット、安全靴、防じんマスクなどの防具を着用してください。

警告

⑤ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

⑤



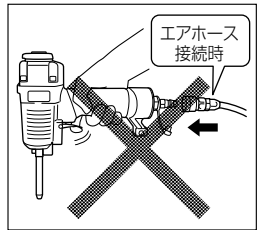
⑥ エアホースを接続する前に、次の点検をしてください。

- ねじ類がゆるんでいないこと。
 - 損傷したり、はずれている部品がないこと。
 - 引金が円滑に動くこと。
 - さび付きなどで、正常に動作しない部品がないこと。
- 異常があるまま使用すると、けがや機体の破損の原因になるので、異常があるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

⑦ エアホースを接続するときは、次のことに注意してください。

- 釘ガイドの中に釘の破片などの異物がないことを確認する。
 - 引金に触れない。
 - 射出口は下に向け、射出口付近に人体、手足がないことを確認する。
- 誤って作動した場合、けがの原因になります。

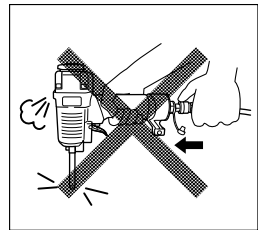
⑦



⑧ エアホースを接続し、次の点検をしてください。

- エアホースを接続しただけで、機体内部のピストンが作動しないこと。
 - 空気漏れや異常音がしないこと。
- 異常があるまま使用すると、事故やけがの原因になるので、異常があるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

⑧



⑨ 用途にあった作業に使用してください。

本機は、型枠材の釘抜き作業を目的とした工具です。
指定された用途以外に使用したり、能力以上の釘に使用すると、けがや機体の故障の原因になります。

⑩ 子供を近づけないでください。

- 作業員以外、釘抜き機やエアホースに触れさせないでください。
- 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。

警告

- ⑪ 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- ⑫ 作業場付近に、配線やガス管などがないことを、作業前に十分確かめてください。

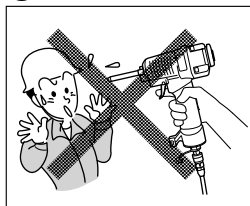
作業中

- ① 指定の空気圧力で使用してください。
 - 使用空気圧力範囲は 0.39 ~ 0.69 MPa {4.0 ~ 7.0 kgf/cm²} です。この範囲内で使用してください。
0.69 MPa {7.0 kgf/cm²} を超えた空気圧力で使用すると、機体の破裂や損傷の恐れがあり、けがの原因になります。
- ② 人体に射出口を向けないでください。
人体に射出口を向けて、誤って作動した場合、思いがけないけがにつながります。
- ③ 射出口付近に顔や手、足などの人体を近づけて作業しないでください。
釘が折れたり、はね返って飛んだときなど、けがの原因になります。
- ④ 釘を抜く木材の裏側に、手や足、身体を置かないでください。
突き抜けた釘で、思いがけないけがにつながります。
- ⑤ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
可燃性の液体やガス（シンナー、ガソリン、塗料、ガス類など）のある所で、釘抜機やエアコンプレッサを使用しないでください。
釘抜時の火花による引火や、空気と一緒に吸引圧縮され、爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

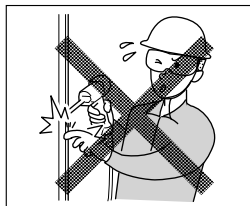
①



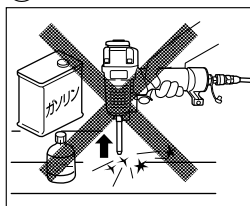
②



③



⑤

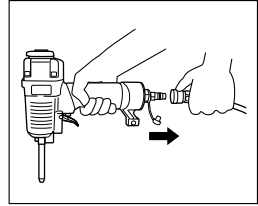


警告

⑥ 次の場合は、エアホースをはずしてください。

- 使用しない場合や作業中断時、使用後。
- 点検・修理・調整、釘づまりの直しなどの場合。
- 釘抜機を移動する際や手渡しする場合。
誤って作動する恐れがあり、けがの原因になります。

⑥



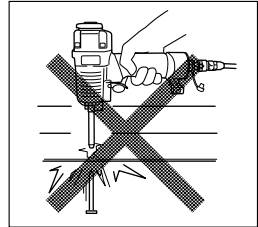
⑦ 作業中はまわりの人に注意してください。

- 木材・釘の破片や、打ち抜いた釘が当たる恐れがあり、けがの原因になります。
機体や材料などを落としたとき、事故の原因になります。

⑧ 薄い板や木材の端の釘を打抜かないでください。

- 薄い板や木材の端の釘を打抜くと、釘が異常に飛んだり木材が割れたりして、けがの原因になります。

⑧



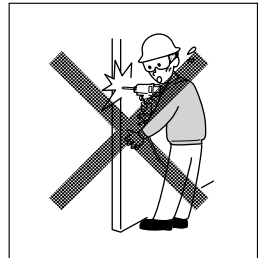
⑨ 機体の反発に注意してください。

- 硬い所に打った釘を打ち抜く場合、機体がはね返ることがあるため、顔を近づけないでください。

⑩ 壁の釘抜き作業をしないでください。

- 打ち抜いた釘が飛んで、けがの原因になります。

⑩



⑪ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- 高所での、釘抜き作業はしないでください。
釘の飛散、落下により事故の原因になります。

⑫ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 釘抜機を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、まわりの状況など、十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑬ エアホースをつかんで機体を移動しないでください。

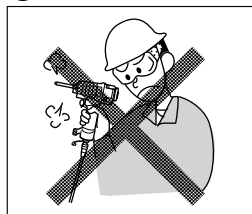
⑭ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことを良く点検してください。

- 内部の圧縮空気での破裂の恐れがあり、けがの原因になります。

⚠ 警告

- ⑮ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常を感じたときは、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
そのまま使用すると、けがの原因になります。
- ⑯ 釘を打ち抜くときは、釘ガイドの先端を確実に打ち抜く木材に押し付けてください。
確実に押し付けないと、釘が折れたり、はね返る恐れがあり、けがの原因になります。
- ⑰ 本機を金づちがわりに使用しないでください。
- ⑱ 長時間の釘抜き作業は避けてください。
本機での釘抜き作業はできるだけ短時間にしてください。また連続作業は避け、間に適当な休止時間をもうけてください。
- ⑲ カラ打ちをしないでください。
カラ打ちを繰り返すと各部の耐久性が低下します。
- ⑳ エアホースをはずすとき、引金に触れないでください。

⑮



警告

作業後

- ① 作業後は、エアホースをはずしてから、釘ガイド内に釘や異物が残っていないことを確認してください。

異物が入っていると、次に使用したとき、思わぬけがの原因になります。

- ② 釘抜機やエアコンプレッサ、エアセットは直射日光に長時間当てたまま放置しないでください。

- ③ 釘抜機は、注意深く手入れをしてください。

安全に能率良く作業していただくため、釘抜機は常に手入れをし、清潔に保ってください。

- ④ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

- ⑤ 部品をはずしたり、改造をしないでください。

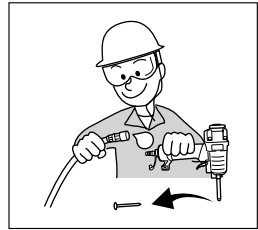
安全性が損なわれ、けがの原因になります。

- ⑥ 釘抜機の修理は、専門店で依頼してください。

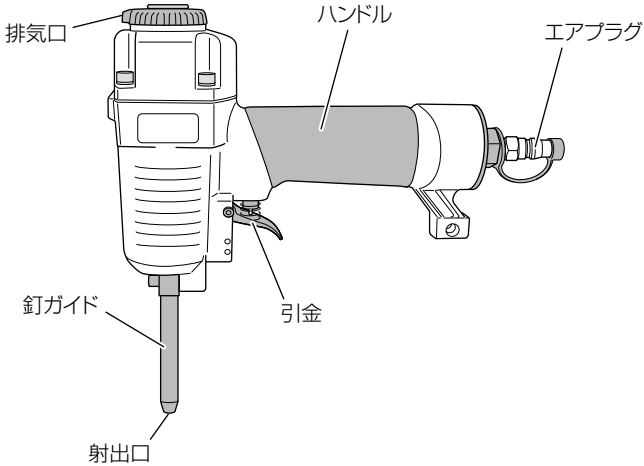
修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。

ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

①



各部の名称



仕様

形名	NU 75A	
動力形式	ピストン往復動式	
使用空気圧力	0.39 ~ 0.69 MPa {4.0 ~ 7.0 kgf/cm ² }	
釘抜き対象部材	型枠合板 12 ~ 15 mm	
釘抜き対象 釘寸法	長さ	(部材からの出張り寸法) 45 ~ 77 mm
	径	φ 1.5 ~ 4.5 mm
機体の大きさ (長さ×高さ×幅)	242 × 235 × 56 mm	
質量	0.8 kg	
使用エアコンプレッサ	EC 1445H3 [*] 、EC 1245H3 [*] 、EC 1445H2 [*] 、EC 1245H2 [*] (一般圧にて使用)	
使用エアホース 内径 長さ	一般圧エアホース 8 mm 以上 30 m 以内	

※ (S) 仕様のコンプレッサは高圧専用ですので、本製品には使用できません。

標準付属品

保護メガネ (1 個)



油さし (1 個)



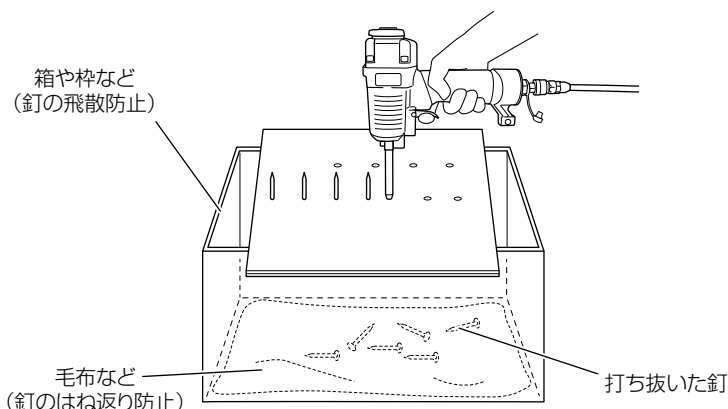
ご使用前の点検・準備

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

●釘の飛散防護枠の準備

打ち抜いた釘が飛散しないように箱や枠などを準備します。釘のはね返り防止のため、箱の中に毛布などを敷いてください。



はじめに

使い方

● エアコンプレッサのドレン除去

水や油が内部にたまりますと、さびの発生などで故障の原因になります。

使用前には、エアコンプレッサの空気タンクのドレン抜きをゆるめて、内部にたまった水や油を除去してください。

乾燥した圧縮空気を使用してください。(詳細はエアコンプレッサの取扱説明書を参照してください。)

● 空気圧力の確認

空気圧力は、釘の長さ、木材の堅さなどに応じて、機体の使用空気圧力の範囲内で使用してください。

0.39 ~ 0.69 MPa {4.0 ~ 7.0 kgf/cm²} の範囲で調整してください。

機体の性能、寿命、安全に影響を及ぼしますので、空気圧力は使用範囲内で使用してください。

● 給油について

- 必ず 1 日に 2 回以上、作業の前後に 5 滴程度の油をエアプラグから入れてください。作業前の油は潤滑油になり、作業後の油はさび止めになります。
- 油は付属の油を使用してください。その他、市販で使用できる油は P.14「使用潤滑油」を参照してください。なお、混用は避けてください

注 ● 作業前の場合、給油直後空気を通すと、しばらくの間油が排気口と射出口より噴霧状に飛び散るので、油がかかっても支障のない所で 2 ~ 3 本釘を打ち抜いてから作業してください。

- 作業後の場合、注油後 1 本だけ釘を打ち抜くと油が内部に行き渡ります。

●エアホースの接続

⚠警告

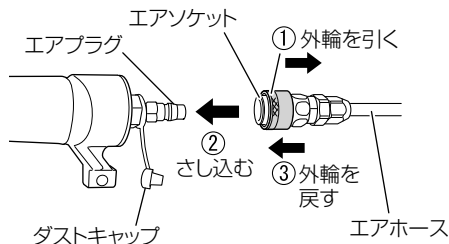
機体にエアホースを接続するときは、次のことに注意してください。

- 釘ガイド内に釘の破片などの異物が入っていないこと。
- 引金に触れないこと。
- 射出口が人体に向いていない。

1 エアプラグからダストキャップをはずします。

2 ごみやほこりが内部に入らないよう、エアプラグの口元のごみをふき取ります。

3 エアソケットをエアプラグにしっかりとさし込んで、エアホースを接続します。

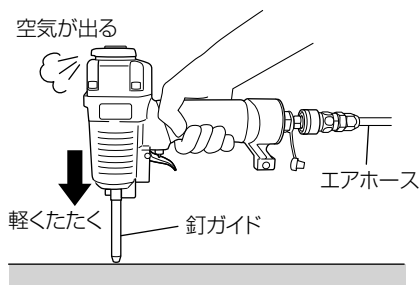


注 エアホースを接続したときに、前方の排気口から空気が出ることがあります。

このときは、木材などに本機の釘ガイド部分を軽くたたいてください。

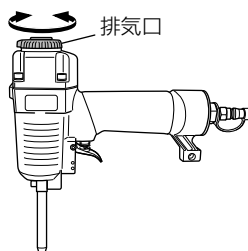
(右図参照)

空気が止まり、作動可能な状態になります。



●排気口の向きの変更

排気口を回すことで、排気の向きを変えることができます。



釘を打ち抜く

⚠ 警告

- はじめてお使いになる際は、エアホースを接続する前に③～⑤の使い方を練習してください。
- 作業中は、必ず保護メガネを使用してください。
- 作業中は、まわりの人の安全確保にも十分注意をはらってください。
- 人体に射出口を向けないでください。
- 射出口付近に顔や手、足などの人体を近づけて作業しないでください。
- 使用しない場合や作業中断時は、エアホースをはずしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- 子供など作業員以外は近づけないでください。
- ねじ類がゆるんでいないことを、十分に点検してください。
- 損傷したり、はずれている部品や、さび付きなどで、正常に作動しない部品がないことを点検してください。

⚠ 注意

- エアホースを接続すると、引金を引くだけで作動します。
- 作業中は、周囲の釘だけがをしないよう十分に注意してください。

注 低温時に使用すると、機体の作動が悪くなる場合があります。

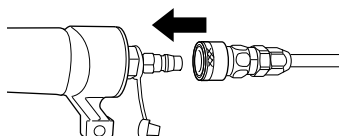
1 給油する

5 滴程度の油をエアプラグから入れてください。さび止めのため、作業後も給油してください。(P.9「給油について」参照)



2 エアホースを接続する

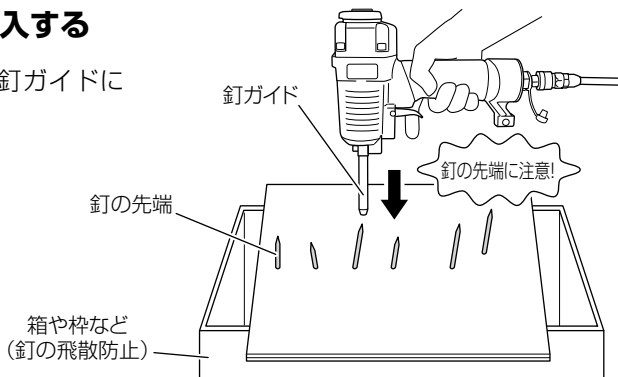
エアホースのエアソケットを、エアプラグにさし込みます。(P.10「エアホースの接続」参照)



3

釘ガイドに釘を挿入する

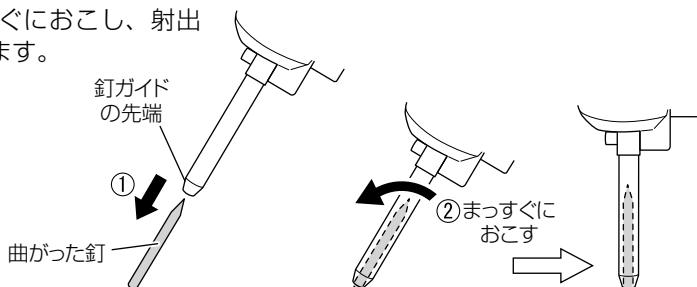
木材に残った釘の先端を、釘ガイドに挿入します。



4

釘をまっすぐに立てる

曲がった釘をまっすぐにおこし、射出口を木材に突き当てます。

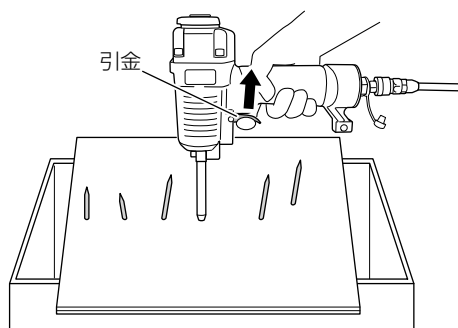


5

引金を引く

釘抜機の引金を引いて、釘を打ち抜きます。

注 釘や木材の種類、空気圧力等によっては、釘が抜けきらずに頭が浮いた状態で木材に留まる場合があります。お手持ちのボール等で釘を抜き取ってください。



保守・点検

⚠ 警告

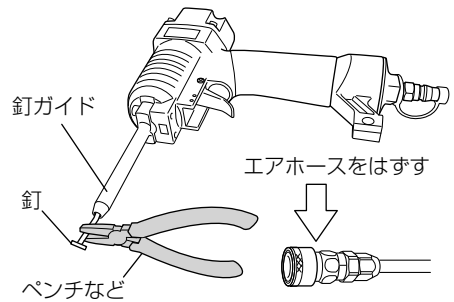
- 釘が詰まったときは、エアホースをはずして使用を中断してください。
- 釘が詰まった状態で機体を作動させないでください。
- 点検・手入れの際は、エアホースをはずしてください。

● 釘づまりの直し方

エアホースをはずします。

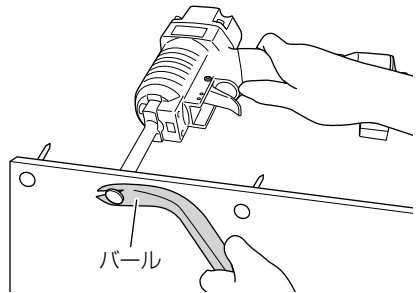
釘ガイド内につまった場合

釘ガイド内につまった釘を、ペンチなどで取り除きます。



木材につまった場合

木材裏側よりバールを使って、つまった釘を取り除きます。

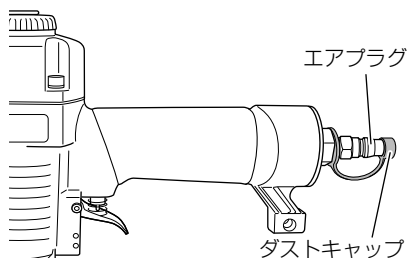


● 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

●ごみ・ほこりの防止

使用しないときはエアプラグにダストキャップをつけ、機体内にごみが入るのを防いでください。



●作業後の保管

注 エアプラグにダストキャップをさし込むときは、機体をさかさにして十分水抜きしてからさし込んでください。

- 作業後は、機体の内部にごみやほこりが入らないよう、ダストキャップをエアプラグにさし込み、保管してください。
- 長期間使用しない場合：
 - さび防止のため、エアプラグから5滴程度給油し、2、3本釘を打ち抜いて油を内部に行き渡らせてください。
 - 金属の摺動部には油をうすく塗布してください。
 - 油は、付属の油をご使用ください。
その他、使用できる油は下の「使用潤滑油」を参照してください。なお、混用は避けてください。
- 気温が下がると、ゴム製部品の収縮で空気が漏れ、始動が悪くなる場合がありますので、暖かい場所に保管してください。
- お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

使用潤滑油

使用潤滑油は、別売の釘打機・タッカ用オイルをおすすめします。この油も含め使用可能な潤滑油は下表のとおりです。

油の種類		銘柄および品名
釘打機・タッカ用オイル		———〔別途販売しております〕
その他の オイル 〔市販品〕	ベビコン油	日立ベビコン用オイル
	エンジンオイル	エンジンオイル各銘柄 SAE10W、SAE20W
	タービン油	タービン油各銘柄 ISO VG32～68(#90～#180)

注 潤滑油は必ず上表の油を使用してください。
不適正な油を使用すると動作不良の原因になります。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 **0120-20-8822**

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認い
ただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>